伯和西爾時報

發行所 伯和西爾時報社
電話 七四六〇七

作者 石井 晶
Director M Sameshima

購讀料 一ケ年 六十圓
半ケ年 三十圓
廣告は御本社御相談

珈琲 サントス四級 十キロ 一八、二〇〇
リオ七級 一二、三〇〇

替爲 對日 四六六五
對郷里送金 五六七〇
對米 一九、七七〇
對英 八〇、〇五〇

民族生存權確保のため 自由資本主義國を倒せ

貪慾英の頭上に痛撃浴す

ヒツトラー 伯林で獅子吼

【伯林十日同盟】ヒットラー總統は、十日午後零時八分より伯林市内の某軍需工場に於て四十分に亘り大演説を行ひ、英國の領土的貪慾並に所謂自由主義國家の教義を痛撃、資本主義世界の崩壊するまで各民族の自由は確保されないであらうと論斷した、演説要旨左の通り

我々は現在何の國が勝つかと云ふ事よりも、より偉大なものゝかけられてる戰爭の渦中にある此の戰爭は、一つの世界の他の世界に對する戰ひである、現在直接此の戰爭に關係してる人々は獨逸の八千五百萬人、英國の四千六百萬人、伊太利の四千五百萬人とフランスの三千七百萬人である、然るに此の四千六百萬人の英國人は約四千万平方キロの土地を支配し、三千七百萬のフランス人は一千万平方キロ以上を、四千五百萬の伊太利人は僅に九十万平方キロ前後の土地を、而して八千五百萬の獨逸人は六十万平方キロの土地を有してるに過ぎない、地球は決して此の偏く全能の神によつて配分されたのでは無い、過去三百年の間に人間の手に依つて爲されたものである。然も此の配分は餘り乃至は相互協定に依つて爲されたものでは無く、英國はその彈力によつて獲る

このあまりにも不公正なる富の配分が總ゆる危機激成の原因となつた此小民族間の余りにも大きな富の懸隔は常識に依つて解決することが不可能な場合は、力に依つて修正されねばならない、生きる權利は同時に唯一の生活根源たる土地に對する正當なる要求を伴ふ、此の正當なる要求に從つて不合理なる分配の爲に生命の危險にさらされた民族は開つて來たのである

豫算の丸呑みは出來ぬ 極力その壓縮計るべし

來年度豫算編成 財界方面の綜合意嚮

【東京十一日同盟】明年度一般會計豫算概算は、十日の閣議にかけて決定されたが、右に對し財界各方面の意嚮を綜合すれば、臨時軍事費追加豫算が未決定の爲め、十六年度豫算全體がどの程度の額になるか未だ判然せず、更に今の批判は尚早であらうが、一般會計豫算の膨脹から推して、少くも十五年度の約二億餘より少額でない事は容易に想像され得る處で、高度國防國家の建設に邁進すべき事情、第五年目の戰時豫算として或程度己むを得ない處であらうが、他面三國同盟成立後愈々顯化した資材の點檢や、公債消化の獨逸となるべき資金源泉の實體等、最近に於ける各般の情勢は徒らにこれを鵜呑みに出來ない情勢にあり、豫算實行に際しては斯る點から極力點檢を計るべきであるとしてゐる

一寸見れば瓦斯マスク 拾へば恐ろしい爆發だ

獨空軍倫敦へ新爆彈投下

【倫敦十日同盟】獨空軍が最近のロンドン空襲に際し、新規な爆彈を投下した事が明

ロンドン警視廳は、十日ロンドン市民に對し、獨空軍の新爆彈取扱方に就き警告を發した、この新爆彈は瓦斯マスクの容器に酷似し、正面にこれを拾い上げれば直ちに爆發すると謂ふ精巧なもので、其の構造は小型の爆彈を挿入した金屬製円筒で、この円筒は四個の部分に分れ、投下される場合、二つはパラシュート上に他の二つは旋回する風車狀になり、爆彈は円筒から出てる針金の失端に吊り下つて落る、其の爆發力は地上半彈五十フィートの範圍内に於て死傷を與へる彈力なものである

谷本中將以下將星に 畏くも御陪食の榮賜ふ

【東京十一日同盟】天皇陛下には、十一日正午、麗に戰一線から歸還した朝中支方面海軍最高指揮官谷本馬太郎中將以下八將領を召され、御慰勞の思召より午餐の御陪食を仰付けられた、陛下には海軍御軍裝にて豐明殿に出御、谷本中將を初め種口修一郎、山田謙吉、福田良三、堀内茂禮、寺岡謹平、多田武雄各海軍少將、橋本重房海軍少佐等を召され及川海相、大角大將以下各軍事參議官、豐田海軍次官、近藤軍令部次長、松平宮相其他御近侍等も召され、午餐の御陪食を仰付られ、終つて千種の間に於て一同に茶菓を賜つつ國運各將領より聞線に渡る武勳談等御聽取あらせられ、天機麗しく入御ありたる、將領等は光榮に恐懼感激して宮中を退下した

米・對英財政援助行はん

議會孤立派は強硬反對

【華府十日同盟】國防委員會が國務省を通じ、英に米戰時必要物資として羊毛を貯藏する件に付き國務省は右交渉が

府が早晩英財政援助を行ふは必至と見、強硬派は強硬な反對態度を示してゐる

米國内に濠毛 二億五千萬ポンド貯藏

【倫敦十日同盟】獨空軍が最近のロンドン空襲に際し、新規な爆彈を投下した事が明

ロンドン警視廳は、十日ロンドン市民に對し、獨空軍の新爆彈取扱方に就き警告を發した、この新爆彈は瓦斯マスクの容器に酷似し、正面にこれを拾い上げれば直ちに爆發すると謂ふ精巧なもので、其の構造は小型の爆彈を挿入した金屬製円筒で、この円筒は四個の部分に分れ、投下される場合、二つはパラシュート上に他の二つは旋回する風車狀になり、爆彈は円筒から出

獨、英本土へ驚異的猛撃加へん

獨宣傳相明言

【伯林十日發】UP電によれば、獨逸宣傳省は本日英本土攻撃に關し、左の如き聲明を行ひ、注目を惹いた

獨逸は近日中英本土に對し驚異的猛攻撃を敢行して獨逸より英國を完全に壊滅するであらう、而してこの攻撃により、英本土は鉄の嵐

米・鐵鑛と同製品輸出制限

【華府十日同盟】ルーズベルト大統領は十日鐵鑛及び鐵鑛製品の輸出制限を行ふ旨發表したが、その内容左の通り

米國々防計畫完遂の爲め今後鐵鑛及び鋼鐵の需要は莫大な量に上るものと豫想されるので、來る十二月三十日を期し鐵鑛、鐵鑛、鐵合金、特定の鐵鋼製品並びに同半製品に對し輸出許可制を適用する、尚は右に關する輸出許可證は英帝國及び米國々防計畫に支障なき限り

泰と友好和親條約 イランと修好條約

御諮詢待ち近く成文公布

【東京十一日同盟】十一日の泰國に日、イラン兩修好條約は、御諮詢を待つて、一兩日中に成文を公布する筈である日、泰條約は、泰國がその中立政策維持の見地より英國兩國と不可侵條約を締結するに當り、我國にも同樣の條約締結方を申入れて來たが、帝國政府としては、不可侵條約締結の始末は、消極的なりとの見地に立ち、更に一歩進めて友好和親條約の締結を希望し、兩國當局折衝の結果、成案を得、去る六月十二日、之が正式調印を見たのである、右條約は本文五條より成り有効期間を五年と定め締約國相互に現存する友好關係を尊重し、締約國の一方が第三國により攻撃されたる場合には、他の締約國は右第三國を援助せず、又締約國は相互に双方の領土を尊重すると云ふ旨のものである、又

英が重慶へ一千萬ポンドの借款供與

【倫敦十日同盟】郭泰祺駐英大使は、過般來ハリファックス外相その他と會見、蘭廠借款供與について盛んに交渉を行つてたが、十日本當局は蘭政府に對し一千万ポンドの借款を供與するに決定した、右一千万ポンドの内五百万ポンドは輸出クレヂットに、殘金は當面安定資金に當られる筈である

佛印南部に暴動勃發重大化

【ハノイ十日同盟】佛印總督府の發表に依れば、佛印南部に於て、去る四日、暴動勃發

形勢重大化しつゝあると謂れる

東洋上に潜水艦と戰ふ

カナダ驅逐艦

【オタワ十日同盟】カナダ海軍當局は九日、カナダ驅逐艦は東洋上に於て獨潜水艦と交戰、損傷を受け死傷者卅九名を出したと發表した

ラバル佛副首相バリーへ赴く

【ヴィシー十日同盟】ラバル佛副首相は、獨當局と直ぐ交渉を行ふ爲十日午後パリーに赴いた、右は獨逸成立を見た獨佛通貨協定に引續き新秩序建設に積極的に協力する目的を以て更に各般の問題に亘つて獨佛と協議する筈である

バトラー英外務次官對支借款に關し言明

【ロンドン十日同盟】英政府は十日將政權に對し一千万ポンドの借款を供與するに決定したが、バトラー外務次官は十日下院の質問に答へて右借款供與に關し左の如き言明を行つた

米國政府は十一月三十日戰時財政富源の保有する米弗資金強化其他の目的で巨額の援助を追加借款供與を發明した、英國政府も將政權に對する財政援助に關ふるに決定した勿論英國政府としては戰時必要の爲ポンド・ブロック内に金並に弗資金を保有する事は必要であり、政權に對して米弗乃至米弗と交換し得るポンド貨を提供する事は出來ない、然し一國當なる取極めを行つて支那にあるポンド貨を彼ブロック内のみで使用する樣に出來るならば英政府は政權として百万ポンドを法幣安定資金に供し政權に關係自治領政府と共同し五百万ポンドの範圍内に於てポンド・ブロック内に於ても物資購入を行ひ得る樣にクレヂットを與へる準備を有するものである、この決定は既に將政權に對し通告したが、英と同時に恒久的速かに技術的協定交渉の爲め何等か取極めを行ふべき事及び今次借款の成否は右交渉の案にかゝつてゐる旨を併せ通告した

スイス次期大統領 ウエツテル藏相に決定

【ジュネーブ十日同盟】スイス聯邦議會は十日第十次大統領として藏相ウエツテル氏を選任した

あばれ大名

（二百七十四）

（くろ船）

盛衰一路（四ノ三）

久我莊多郎 作
金春秀 畫

聞き終るとかびたんの重三を蒙つて、無事に御つてもら

「そ、さうか。且那は、そんつた且那が、寄目になつたかなにまで嗣い氣になんなすつらつて、急にさう宵中をけずとよからうぢやねえか！）

と。

だから重三は、

「たかゞ支倉大一郎ひとり、且那は、毛髭にたかる蚤虱ほどにも考へてゐなさらねえだらう」といつた。

「おれにしたつて、さうだ。この土地のお殿さまが、にはかに無情な仇似をなすつたからつて、そんなことを氣にしやアしねえ。なアに、おれたちにや、廣い海があるんだ。その海を味方にして、きつと且那は護つてみせらあ」

と、それまで默つて聞いてゐた鯖七が、

「兄貴は心から且那のことをさう思つてゐるのか？」

「さう思つてゐるか、とは」

「佐分利先生も先夜そんなことを言つてゐなすつた。たとへ、どんなことがあらうと、最後まで且那のお味方だ、と」

「鯖七」

フィと重三の顏が紅潮した

「どんなに嗣い氣になられたからつて、まだ〳〵且那は海の將軍さまだ。氣のせまいお公儀の鎖國主義をセセラ笑つて、今日まで、國禁を齧みにじつて來なすつた海の維者だもの、お大名だもの、どんなに寄目になつたからつて、お前さんがたの三人や五人、既へねえ且那ぢやありませんよ」

さういふ言葉尻には、毒氣かふくんでゐるやうであつた

かれ、かびたんの重三には佐分利一學の持つ武士的な誇りはない。けれど、海に育つた男が懷く、强い信義を持つてゐた。かれは、とも、すれば浮き足立ちさうな尾形や志水に、かう怒鳴りつけたく思つてゐる。

（なんぼ、義理知らずのあぶれ者だアいへ、今日まで御恩

う？」

●ウインザー公はシンプソン夫人を伴ひ、本日ヨットでマイアミ市へ潛水の氣を養ひに來られた

●幾年になると獨逸は米國に對し宣戰布告するであらうとテリー・ニュース紙が論道した

●伊領エチオピヤの某種族は獨立を謀り、イタリー駐屯軍を攻撃したと云ふ訳である

●南太平洋上で英獨艦巡洋艦に損傷與へた獨逸艦が、その後英國を完全に壊滅するであらう、而してこの攻撃により、英本土は鉄の嵐

●英國軍艦に拿捕されたと云はれるが、一説には無線連絡したとも云はれてる、またモンテビデオ邊りをウロツイてると危いぞ

●英もまた重慶へ一千万ポンドの借款を許した、いくらでも援助するのは御勝手だが、自ら墓穴を掘ると云ふ運命の必然的到來を御存知ない

▲米國陸軍では豫備將校三萬人を召集、現役服務を命じたぎる、出來るかけ削減すべしと、財界方面の聲が高い

▲十六年度豫算が餘り大きい、出來るかけ削減すべしと、財界方面の聲が高い

阿部駐華特命全權大使
重大使命果して歸國の途に
日華國交史上に巨大な足跡印す

【南京十一日同盟】去る四月末特任以來、國民政府間との親善使節として、又特派全權大使として、日華國交調整の爲、活躍した阿部信行大將は去る十一月卅日の日華條約、日滿華三國宣言の調印完了に因り、その使命を果したので過日本省より歸朝命令を受け汪精衛、西尾總司令官を初め日華關係方面に歸國の挨拶廻りを終へ、十一日午前九時十分青木顧問、影佐、須賀兩少將以下隨員車に上海迄見送りの日高參事官、犬養健氏等を帶同、西尾總司令官を初め、各部隊長、軍官民、中華民國側より陳內政部長、緒外交部長、其他多數の見送りを受け南京發京滬路歸國の途に就いた

（寫眞は阿部大使）

國府初代駐日大使
緒民誼氏に正式決定
外交部長後任に李聖五氏

【南京十日同盟】國府初代駐日大使繆民誼氏のアグレマンが十日午前中央政治委員會々議に附議した上、正式に任命を見る事となつた、繆民誼氏の後任外交部長には、司法行政部長李聖五氏が擬せられてゐるが、同氏の就任困難なる場合、外交部政務次長徐良の昇格を見る模樣である

新民會全體協議會
北京海仁堂に開く

【北京十一日同盟】第三日の新民會全體協議會は、十一日午前十時から海仁堂に開會、

一、共產黨の覆滅
二、舊體制支配の殘存的存在の清算
三、全東亞の戰時動員體制の

等を骨子とする宣言を滿場一致可決、次で經濟關係の議事を審議し、午前の會議を終り、午後は教育關係議案の審議を行つた

泰機の越境頻々
佛印も之に應ふ

【ハノイ十日同盟】佛印當局發表に依れば、九日午前泰機二台は、佛印ラオス州サワナケットを來襲、爆彈六個を投下、同日午後再び六機來襲、爆彈七ケ投下、中一彈は病院に命中したが死傷はなかつた

佛印空軍は右に對し九日午後泰軍飛行基地ウドーンを（ビエンチアン南方約五十キロ）空襲、更に九日夜泰軍前線數點ナクロンを報復爆擊し泰機一機を爆碎したと

江上艦艇
機雷處分

【〇〇基地十日同盟】中支艦隊報道部發表に依れば、我揚子江艦隊の十一月中に於ける機雷處分は、五十四個に上つた

超短波

樞密院會議

十一日宮中に於て樞密院會議開催、樞密院議長以下各顧問官、政府側より近衛首相以下關係閣僚並に富田書記官長出席

日泰通商條約並に日、イラン修交條約の批准を終へ同四十分散會した、日泰條約は最後に泰國より日泰不侵略條約締結申入あつたに對し我方としては一歩を進めて兩國條約の締結を提案、今回實施する

水產講習所練習船

十一日水產講習所練習船が十一日バンコックを訪問したが、同地へは初めての訪問として大歡迎を受けてゐる

芳澤使節出發

ラン印特派使節芳澤氏は、松岡外相以下官民の見送り裡に十一日午後一時東京驛を出發、途に上つた、氏は伊勢神宮、桃山御陵を參拜後、神戸出發の豫定である

阿部大使歸國

重責を果した阿部大使は政府の聞朝命令に接したので、十一日午前九時十分、青木顧問以下隨員と共に南京を出發、飛行機で歸國した

生糸輸出高

十一月度生糸輸出高は六千七百十二万九千円で、前月に比し、一千八百七十七万円、前年同期に比し、十五割四歩の增加となつてゐる

河北の政治情勢に
劃期的意義齎さん
政治委員會々議終る

【北京十一日同盟】去る八日より開催の河北政務委員會第二次全體委員會議は、十一日午前十一時最後の懇談會を開き、王揖唐委員長以下常務委員廿二名出席、當面の諸懸案に就き意見を交換、日程の全部を議了し、正午閉會した、會議決定事項は事態に即應し逐次實現せらるべく、新條約締結後の河北の政治情勢に劃期的意義を齎すものとして期待されてゐる

中國宣傳部隊
共後の動靜

【東京十一日同盟】國民政府中央宣傳講習所附日華戰鬪の渤海部隊は、支那派遣軍報道部宮崎中尉に引率され、十一日午前八時東京驛着列車で入京、先つ宮城前に到り拜居を遙拜した後、一旦宿舍に入り午後は明治神社、明治神宮に參拜した

日本の生糸統制
海外へ專管輸出か
他の纖維にとり大脅威

【東京十一日同盟】工組の第二回人絹、スフ合同企業合理化委員會は十日開催、協議の結果左の如き統合要綱を決定したので、二十日兩團體の全員懇談會を開き、左記條項に關する意見交換を行つて實行に移す事になつた

一、人絹スフ企業の合理化を圖る爲め、左の基準に依り資本の合同又はブロックの結成を慫慂する事

イ、人絹スフ專業の場合は五十噸を下らざる事

二、人絹スフ兼業の場合は合計を七十噸とし、人絹スフ何れも（二十噸を下らざる事

一、資本の合同又は合理化ブロックの結成は各社に於て急速にその實現を期するものとす、希望に依りスフ製造工業組合又は人絹聯合會に於て斡旋する事、右合理化ブロック結成は會社單位に依りこれを行ふ、結成の場合に於ては代表者を定めその旨回出る事

相場で生糸を買上げ、需要維持の爲め可急的安値で海外へ專管輸出する事は可能だ、當地當業者も若し生糸が一円五〇錢低落すれば他の纖維が如何に競爭して相場を下げるとも、この計畫はカナダの小麥プールに似たもので、結局海外に於ける日本生糸の現存販賣機關嚴廢になるが、日本は新たる機關はその儘置く意圖の樣だ、然し販賣機關が個人經營に委ねるとしても、今次の方策で日本が輸出生糸の市價を決定する方法は、

一、海外輸出生糸の出廻り統制

一、政府經營の特殊會社より糸繭を買ひ、市場に出動し輸出生糸相場を安定させる

これには生糸の內外相場並びに生產統制協力機關が必要だ

米紙の社說

【紐育十日同盟】日本の生糸統制强化につきジヤーナル・オブ・コンマースの社說日本は國內生產者から一定の賠償を決定する方法は、

人絹・スフの統合要綱決る

北へと南へと！
延長する民間航空路
明年度期し飛躍的發展

【東京十日同盟】明年度豫算中、民間航空費二千六十五萬円が承認され、躍進する航空路は最に飛躍的な發展に入る事となつた、右の總費四月一日から福岡、台北線を東京、台北線に、京城、大連線が京城、北京線に、南京、福岡線が東京、南京線に、台北、廣東線が台北、海南島海口線に、それ〳〵延長される他パラオ、淡水線が九月一日から二週一往復で新設される

支那軍五ケ師團
佛印國境へ集結

（香港十日同盟）ハノイ發UP電は支那側と佛印國境の供ずべき情報として、騎兵及び重砲を持つ支那軍五ケ師團が佛印國西國境地域に集結、更に續々增强中と報じてゐる

ヒットラームッソリーニ
ラバールと近く會見

【ブカレスト十日同盟】ブカレストのターレンツル紙は、十日の紙上にセイカル社長署名入のローマ特電を掲げ、ヒットラー總統、ムッソリーニ首相、ラバール副首相は近く某地に會合し、獨伊とフランスとの獨逸和約に關する準備協定に餘ぎ協議する旨ならうと報じてゐる

月の錄

▲カナダ輸送艦サガネー號は大西洋上に於て獨潛水艦に撃沈された

▲ジリアナ・オランダ女王は今度米國へ來られ、ホワイトハウスに投宿されることゝなつた

▲佛印空軍はメコン河畔のウボン市を爆撃、泰國軍參謀本部附近へも爆彈二個を投下した

募集
女事務員　二名

高等女學校卒業程度の方
希望者は履歷書持參本人來店の事

株式會社　小西商店
聖市セナドール フエージョ街一七七番

粹なサービス
母國情緒
タップリな
日本座敷で
料亭　青柳
聖市ルア・タバチンゲーラ
五六番　電話二一一九四八

苦學生募集
市內配達に
從事する者
壹　名
時報社發送部

伯剌西爾時報社
內外各地支社所在地
東京支社　鷲谷情一
東京市京橋區槇町二ノ二
リンス支社　中村滿志
Rua Comandante Salgado, 144
C. P. 203
Est. Lins L. Noroesti
アンプルア支社　茂木源太郎
Rua Ruy Barbosa, 70
C. P. 137
Est. Pres. Prudente
L. Sorocabana
マリリア支社　本多彬
R. Paes Leme 306
（川口醫院側）
C. P. E Est. Marília
L. Paulista

APREFERIDA
NATAL・FEDERAL
5 MIL CONTOS
ナタール聯邦ロテリヤ五千コントスデレイタ街二番
ローダ・ダ・リオルテで
本日31日又々30コントスの家屋賞懸賞無料提供

輕便勞働靴
輕ク　丈夫デ　安イ
皮ゾーリ用働勞ニ並
各地方商店にあり
（專賣特許番號二〇三一一七二一二）

福袋
福
ハセ
前記外の抽籤券に洩れなく進呈

梅
赤玉ポートワイン……五同
レートクレーム（新型チューブ入）……廿四同
アルミ鍋……五同

竹
B、紳士用純銀製カフスボトン……六同
C、セブトン製食器一組……三同
D、美術花籠……三同

松
A、自力健康器……二同
B、精工舍製置時計……二同
C、同目覺し時計……二同
D、御婦人用絹張傘……三同

A、雜誌一ケ年分進呈……四同
（講談社九大雜誌中より御希望の分）

天
A、國產ローラス足踏ミシン……一本
B、日本製高級自轉車二八吋……一同

地
A、最新式日本製空氣銃（彈丸五〇〇發付）……一同
B、新式日蘇ガソリンコンロ（家庭用）……一同
C、少年用自轉車（二四吋）……一同

人
A、精工舍製高級懷中時計（十石入）……一同
B、同　紳士用高級腕時計（十五石入）……一同
C、同　御婦人用高級腕時計（十五石入）……一同
D、山內式家庭用製麵機……二同

景品

一、期日　十二月十六日より廿一日迄
一、御買上廿五ミル毎に抽籤券一枚進呈、其の場開封
一、夜間營業　右期間は夜間も開店いたします
一、他地方よりの御用命分は代籤の上それぞれ贈呈いたします

皆様
年內も餘す所僅かとなりました
愈々御健勝にて御喜び申し上げます、さて恒例によりまして年內の非常なる御引立にむくゆ些か御禮の意味で左記の如く年に一度の歲末景品付大賣出しを始めることにいたしましてお樂しみの景品の數も盛澤山といたしました
ナタール、お正月向食料品、贈答品は何れも嚴新豐富に取揃えてございます故是非御來店下さらん事を御願ひ致します

羽瀨商店
CASA HASE - Rua Irmã Simpliciana, 102
市內配達いたします
御送金はコンヴアロール又は Cheque にて
電話 2-1575

紹體紹命

ごう展カッスル號の運命

時間内に止むなく出港

ブラジル沿海に向ふ

【モンテビデオ十日同盟】獨武裝仗船との交戰によつて損傷を蒙り、去る七日モンテビデオ港に避難入修理中であつた英補助巡洋艦カナルボン・カッスル號は、ウルグワイ海軍委員より許可された四十八時間以内に應急修理を終へ、十日午後四時四十六分行先を極秘にして急に同港を出港した

【モンテビデオ十日發】UP電によれば十日午後四時四十六分モンテ港を出港したカナルボン・カッスル號は、遮洋合に出で東に航路をとつてブラジル沿海に向つた

フラオークランド

英領海軍基地米に讓渡？

注目される亞紙の報道

【ヴエノスアイレス十一日發】米國に對する南大西洋の英海軍基地讓渡に依る對英援助が更に問題となつてゐる折柄、當地の夕刊紙ノチシア・グラフィカ紙は、十一日英國は南大西洋上に在り、大小二百余の島嶼からなり、全面積六千平方哩、人口約二千、畜産を主要産業とし、一八三三年から全島嶼が英領となつてゐるものであるフオークランド諸島はアルゼンチンのチエラデアルフエゴ州の北東二百五十哩の南大西洋上に在り、大小二百余の島嶼からなり、全面積六千平方哩、人口約二千、畜産を主要産業とし、一八三三年から全島嶼が英領となつてゐるものであるフオークランド諸島はアルゼンチンのチエラデアルフエゴ州の北東二百五十哩の南大西洋上に在り、大小二百余の島上の屬領フオークランド諸島を米國、或ひはアルゼンチンに讓渡するに至るかも知れないと報道、注目されてゐる。

バラグワイ河鐵橋

近　完成の運び

國營ノロエステ鐵道の延長線はマトグロッソ州ポルトエスペランサより更に延びてバラグワイ大河を横切つて走む事になつてゐるが、この大河に目下鐵橋架設工事が進められてゐる、工事費一万四千七百コント、長さ二粁に及ぶもので、これが完成の曉には聖州よりマトグロッソ州を横斷ボリビヤ國、バラグワイ國に至る幹線として重要役割を演ずるものである

國防献金

パウリスタ延長線ピラ日本植民地日會役員左記六名は、皇紀二千六百年記念祭を機として金ヵ百圓レース也を醵金し國防費として送金方を本社へ依頼して來た

會長廣田正一、副會長大原實、會計高野兼一、學務宇田恒夫、土木藤本亨藏、衛生坂口由雄

異常な

親愛會主催農事講習會

熱心さで終る

再認識されるモヂアナ地方

最近急激に入植者が增し各所に日本人の大ファゼンダ及び大借地農が現出する一方、中農邦人も堅固な地盤のもとに昔日の活潑さを取戻すであらうと言はれてゐるモヂアナ方面、わけてもリベロン附近の邦人の動きは注目されるものがあるが、同地親愛會（青年會）では農の指導と合理化を計る目的のもとに去月二十九日總領事館動業部北村技師を講師に招き農事講習會を開催した、遠くはフランカ、サンジョアキン地方よりも熱心な人達が馳せつけ會員は文字通り立錐の余地なき盛況の盛大さを見せた、講師北村氏も聽取者の熱心さに引かされ夜に入るまで汗だくで講習をした、

神宮大會後日談

病友小田の慘敗に發奮

ガンバリ屋峯選手

豫選最高記録を出す

四決百勝に准ず

過ぐる明治神宮大會の日、目下聖市滯在繭賣展開催中の大橋賣伯夫妻をお招きして、來る十七日（火曜）午後二時から同會々館に於て、賣伯夫妻の話を聞く會を催すことになつたが、あの時代に敗然として鎌田に對抗し、おすえを我がものにする決の度胸を示したのは金子なればこそである。

アマゾナスに居る戸田義雄が切開することになつた。戸田は大敗不敵な男で、どんな知らないことでも百年も經驗した樣なことを云ふ男である。恐らく戸田に取つてはムーラを切開するなどは、臍の緒を切つて始めてであつたらう。

「金子」は私の足を踏ふと云ふ風な考へに過ぎなかつたらう。

「山縣」の下には漆器製造の方に働いてゐたらしい。サンパウロ市に造つて來たのは何時頃か判然しないが、私と知り合ひになつたのは、フロレース街（現シルベーラ・マルチン街）の現在はヂモリされてアベニーダ・ランヂエル・ベスタナとなつて居る邊である。街に添ふて既に廢棄された不細工な板の門戸があつて、其奥のたつた一室を借りて、宮崎信藏と住んで居た頃である。彼の頭は紳草紙の能登守の姫く、額から丸い山形に禿て、性格もヌーボーで何處か拔けて居る樣な、それで居てなかなか拔けて居ない男であつた。

「親切」心があり、人の世話が好きである。何としても割りきれない樣な彼の性格の内には、多數に山縣的なものがあつた。紗に人を慰きつける力を持つて居た。現在ピリグチ町にアソゲをして成功して居る東の姫きは、金子に親の姫く主人の姫く仕へて、叱られても打たれても異存がなかつた。彼がおすえと同棲するに至つた場合の姫き、最も著しい例である。

おすえは福島縣人で、あの頃美人と云はれて居た。第一回移民中の俊秀な青年鎌田信一郎は同郷人でもあり、サンマルチンニョ新地の通譯で鳴した男であるが、おすえにぞつこん惚れて居た。鎌田の性格は亂暴で、おすえを强奪仕樣ねまじき勢であつたが、おすえは頑として聞かず、金子に身を任せた。鎌田は腹を立てゝ、金子の寶に亂入し、瀉を加へたとか云ふ噂があつたが、あの時代に敗然として鎌田に對抗し、おすえを我がものにする決の度胸を示したのは金子なればこそである。

「し、金子には人」一倍純な點があり、嗣々しい性質があつた。自分の恥を明るみへ出す樣であるが、私が横恢を思つて輪湖が金子と性格的に合はず別れた折、金子が

「是非何とかしてくれ。」

と縋むので、印刷以外一切口入れしないと云ふ條件の下に私が一ヶ年間日伯の仕事を手傳つた。金子は實に器用な男で、一時玩具製造もやれば日伯の石版印刷も皆彼の工夫に依つて出來たものである。

「千九」百十九年、活字を持つてくると云つて羅國したが、彼は活字と一緒に新妻をつれて來た。何か深い事情があつたらしいが、ブラジルには彼を

「金子さん、金子さん。」

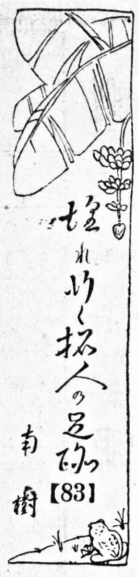
と呼んで居る。鎌田と爭つて克も得たおすえ夫人が待つて居た。留守居を預かつてゐた鹿野久一郎などは、金子のためには何處迄も片棒を擔ぐつもりであつたが、興をさまし直ちに日伯新聞を出てしまつた。無論金子はおすえとも別れなければならなかつたが、それが人氣を失ふ基を作つた日伯新聞を三浦驛に會らなければならなかつたのは其のためである。

「金子」は本に朋上げたが死んだと云ふものもあり、いや、未だ生きてゐると云ふ人もあるが、死んだと云ふのが眞實である。實に面白い男であつたが、惜いことをしたものである。「どうした〳〵」と聲をかける鎌のあつた彼の姿が、聽をつぶるとあり〳〵と浮んで來る。

一代の怪雄山縣

——二十二——

保三郎は聖州豐機の相當な金持ちの一人子息である。どう云ふ譯でブラジルに來たか、親しい交際をしながら聞きもらしたが、明治四十一年ロンドンを經てブラジルに遣つて來た。チヂカに山縣を尋ねたのは別に縁もゆかりもあつた譯ではないが、只漫然と山縣の聲名をきいて、居らばやがて



【83】

日本通信研究の

モレイラ技師歸る

日本政府の招きにより、日本のラヂオ通信施設研究のため日本聽在中であつたブラジル郵便電信局技師アルベルト・モレイラ氏は北米經由ウルグワイ號で、昨日リオへ無事歸着せるが、今後同氏によつてブラジル國内のラヂオ、其他の通信機關の改善が行はれるものと期待される

蔬菜市場

十三月十日

コチア蔬菜組合	安値　高値
トマテエスペシアル	一〇 一一
ブリメーロ	八 九
セグンド	八 九
レポーリオ	五 一
ピメントン	四 六
バージ	五 五

棉の相場

ナンパウロ棉花取引所建値

十二月十日

單位　十五キロ

	買値	賣値
四級	四四、五〇〇	四五、〇〇〇
五級	四四、五〇〇	四五、〇〇〇
六級	四四、五〇〇	四五、五〇〇

重要商品市況

十二月十日　買値　賣値

◎パタタ　六〇キロ
アマレーラエスペシアール　四八、五〇、

◎スペリオール　三六　四〇

◎マンヂオカ粉　五五　五五

アルフアフア
キロ　四〇　四〇

◎小麥粉一級　四九　五〇

◎スペリオール　四四　四六

◎マンヂオカ粉　五五　五五

アルフアフア
キロ　四〇〇　四〇〇

◎小麥粉一級　四九　五〇

◎砂糖　以下六〇キロ入
極上　七一、七二
上等　六八、六九

◎ブエジョ　六〇キロ

◎新ムラチンニョ
スペリオール　六二　六三
エスペシヤル　六六　六六
ポン　ノミナル
レグラール　ソミナル

△コーレス　六〇キロ
ブ・グラード　ノミナル
ロシンニョ　ノミナル
シュシビンニョ　ノミナル

△ミリヨ　六〇キロ
アマレリニョ　二、三　二、三
アマレロ　三〇　三〇、三
アマレロン　三〇　三〇、三

△アローズアグリア
アマレロン
エスペシアール　四四　四五
スペリオール　四四　四六
ポン　四六　四六
ブランコ
エスペシアール　四六　四六
スペリオール　四六　四六
ポン　四六　四六
レグラール　四六　四六
カテテ
△エスペシアール　四六　四六
スペリオール　四四　四四
ポン　四四　四四
△メイオ　ノミナル
△キレーラ　四四　四六

味と香りの茶ツビー

エルビーリア	一〇	一五
ポブリンニョ	五	一〇
ペピーノ	一〇	一二
人參	一〇〇レース	一四
パタタ	一〇	一四
コーベフロール	五	一〇
ナス	五	八
玉子	二、四〇〇	二、六〇〇

急募

職人　數名
バッサドール　二、三名
至急履ひ度し
高級支拂ふ
チンツラリーア
サンジヨゼ
聖市マヂヨール
セルトーリヨ街九八
電話四—六二九八

急募

職人を二、三名
高級優遇す
イピランガ區
ポン・パストル街一一五
チンツラリーア・コンテンテ

至急入用

バッサドール　數名
高給支拂ひます
ルア・リスボア三一六
チンツラリーア太陽
電話八・一二七七

募集

バッサドール　二名
見習　一名
サント・アンドレ市シヤビエール・デ・トレード街一九四
チンツラリヤ・ジヤポネーザ
電話四一九

募集

ピントール　數名入用
希望の方は御來談下さい
ルア・コンソラソン一九〇六
カーザ廣島
電話五—一〇三一番

求人

ラバドール　一、二名
詳細は左記へ
チンツラリーア・レオン
電話七・五九四八
ピラマリアーナ區
R. Caravelas, No. 1
São Paulo

風呂桶

安價迅速
其他大工仕事一切
聖市コンソラソン街五七
電話二・八三三四
赤星賢二

急募

職人　數名
バッサドール　二、三名
至急履ひ度し
高級支拂ふ
チンツラリーア
サンジヨゼ
聖市マヂヨール
セルトーリヨ街九八
電話四—六二九八

急募

バッサドール　二名
至急履ひ度し
ポン　四四　四四
ブランコ　四四　四四
エスペシアール　四四　四四
スペリオール　四四　四四
ポン　四四　四四
レグラール　四四　四四
カテテ
△エスペシアール　四四　四四
スペリオール　四四　四四
ポン　四四　四四
△メイオ　ノミナル
△キレーラ　四四　四四

桑田齒科

ビネイロス、カルチアル
アルコゲエルヂ二六五一番
午前八時より
午後八時まで

BAR E REST.
"LEÃO"
AV. S. JOÃO, 284
Pegado ao Correio Teleg.
何時でも愛い御食事が出來ます。
カンヂアエスペシアル
18500

開店

バール・並にペンソン
ポルト名產
鮮魚・取扱
濱本喜代太
猶御遊覽の節はモーター船で御案内致します
ソロ線ゾレシデンテ・エピタシオ

農用空鑵空樽

▲空樽類
○カルトーラ　一個　三十五錢
○キント　一個　十四錢
○デスモ　一個　十二錢

▲空鑵
○ガソリナ（蓋ナシ）　四十五錢
○油カン上等　六〇錢
並　五五錢

時報商事部

胃腸の非常時

水銀柱はグン〳〵昇る昨今の猛暑
普通でさへ胃腸の弱り勝ちな夏

▲食の進まぬ人
▲食べたものが下らぬ人
▲腹具合の惡るい人
▲夏痩せの酷い人
▲氣力の弱つた人
▲疲れの酷い人
▲母乳不足の人

今こそ
エビオスの必要時

食慾を進める
便通を整へる
食物を榮養化す

▲各地有名藥局、商店に販賣す

これがエビオスの持つ素晴らしい三大効です

伯國總代理店
西谷商會
Caixa Postal, 2748 - São Paulo
Caixa Postal, 1134 - Rio de Janeiro

Redação - Rua Fagundes, 196
Telephone 7-4670
Caixa Postal, H
Director M. Samesima

NOTICIAS DO BRASIL

Proprietario SEISAKU KUROISHI

Assignatura Anno .... 60$000
Semestre .... 30$000
Numero de dia .... 300 reis
Gerente S. Kuroishi
Redator-chefe M. Yendo

ANNO XXIII — S. PAULO — QUINTA FEIRA 12 de DEZEMBRO de 1940 — DIARIO No 2356

Da Independência ao Estado Novo

(8)

Todavia, pelo seu proprio temperamento, era o homem indicado para levar a efeito a conciliação da politica estadual. Unificando os seus partidos ou, o que vale dizer, serenando as suas lutas partidarias, o Rio Grande do Sul adquiriria extraordinário prestigio na Federação. Habilmente, o seu novo chefe do govêrno tentou a grande obra de harmonização politica, agremiando os partidos locais numa «frente unica», sem sacrificio do programa, da disciplina e da hierarquia de cada um deles. Com a pacificação politica foi-lhe mais fácil realizar uma administração fecunda. O Rio Grande do Sul atravessava brilhante fase de expansão economica. A diversidade da sua produção e a tradicional cautela com que eram dirigidas as finanças publicas criavam-lhe uma situação de incontestado destaque economico.

Desta forma ao atingir á suprema chefia do govêrno da Republica, o sr. Getulio Vargas aparecia ao julgamento dos brasileiros como um politico de notável habilidade e um administrador experimentado. A nova oportunidade que se lhe abria á carreira de homem publico poria em decisiva prova as suas qualidades. Pelo seu feitio sereno e ponderado, devia ser um dos raros politicos que não se iludiriam com as profundas consequências da Revolução. Mais cedo ou mais tarde, ela desceria na vertical da vida brasileira para atingir-lhe as verdadeiras raizes. O seu confuso liberalismo era um verniz de empréstimo que não resistiria aos embates da realidade.

O espirito calmo e refletido, o imperturbável sangue frio, o notavel tato politico, a capacidade de contemporizar e a tendência natural para a tolerância do sr. Getulio Vargas foram, não só preciosos elementos no preparo da Revolução, mas, sobretudo indispensaveis condições para o apaziguamento das paixões e para o retorno á normalidade depois da excitação do triunfo. A Revolução, já dissemos, não tinha um programa ideologico, salvo a confessada tendência liberalizante. Era preciso, pois, improvisá-lo. O sr. Getulio Vargas primeiramente firmar uma diretriz de govêrno. Embora os poderes discricionários que lhe eram entregues, muitas correntes e muitas figuras de primeiro plano no preparo e na vitória da Revolução se julgavam no direito de influir na orientação da nova ordem de coisas. Os compromissos da campanha e as próprias condições de efervescência do país obrigavam-no a uma ação contemporizadora e conciliatória. O sr. Getulio Vargas soube exercê-la com rara habilidade. Deixando que as paixões partidárias se amainassem por elas mesmas e que os elementos mais inquietos e menos adequados á tarefa construtiva se usassem com o tempo, êle desviou os seus melhores cuidados para os graves problemas administrativos do momento.

Modesto, acessivel e llhano, conquistou rapida popularidade. O país de-pressa se convenceu de que, através a habitual tática contemporizadora, sabia reivindicar a sua autoridade de Chefe. As suas virtudes tipicas, entre as quais sobresaiam a serena bravura e a tolerância, despertavam as maiores simpatias publicas. O Presidente Getulio Vargas começou, assim, a afiguar-se o homem necessário para dirigir a reconstrução brasileira.

Um valor! Uma oportunidade!
Um excelente negocio!
Na Colonia Nipponica!
"ANNUNCIOS"
Sirva-se dos
do
"NOTICIAS DO BRASIL"
Rua Fagundes, 196 - Phone 7 4670
Caixa Postal, H. S. Paulo

LEIA O NOSSO
KODOMO NO SONO
Supplemento do jornal "Noticias do Brasil"

Atravessam toda a Asia para embarcar para a America do Sul

A chegada ao Rio do "Yamaura Marú" - Fala á NOITE o commandante

Procedente de Kobe e escalas, amanheceu hoje na Guanabara o transatlantico japonez «Yamaura Maru» novo vapor da Yamashita Line, que veio sob o comando do capitão K Uchida. Entrevistado pela A NOITE, disse o comandante Uchida:

— Gastei quarenta e cinco dias no cruzeiro de Kobe ao Rio A travessia foi calma Atualmente, no Japão, estão chegando levas de fugitivos vindos da Europa que atravessam toda a Siberia e que procuram embarcar para os portos sul-americanos. O «Montevidéu Maru», que aqui aportará em 6 de dezembro, vem repleto de fugitivos poloneses, que ficarão localizados no Paraguai, Peru e Bolivia Uma grande leva seguirá para as terras da Patagonia. A bordo trazemos para o Rio grande quantidade de brinquedos manufaturados no Japão.

Tokio escolhido para porto de commercio exterior

TOKIO, 9.— Foi dada á publicidade pelo Ministerio dos Negocios Interiores, a seguinte noticia: Como resultado da conferencia realizada entre os representantes dos Ministerios das Finanças, Negocios Interiores, Estradas de Ferro e Communicações, o governo resolveu que Tokio, constituisse o porto para commercio exterior, tendo assim, o plano de melhoramento do mesmo, approvado em reunião havida entre engenheiros do Ministerio dos Negocios Interiores. A decisão formal será tomada na reunião de Ministros do Gabinete, que se realizará ainda nesta semana. Com essa providencia, porem os meios governamentaes tomaram o maximo cuidado para não ser prejudicada a prosperidade do porto de Yokohama.

General Góes Monteiro

A HOMENAGEM PRESTADA HONTEM NO JOCKEY CLUB AO CHEFE DO ESTADO MAIOR DO EXERCITO — OS DISCURSOS PROFERIDOS

(Transcrito do Jornal do Commercio de 30-11-1940)

= 5 =

DISCURSO DO SR. GENERAL GOES MONTEIRO

«Sinto-me, como é natural, muito penhorado, e na verdade, desconcertado e aturdido, com as generosas e excepcionaes homenagens que me vêm sendo liberalizadas pelo meu regresso da America do Norte e que só posso attribuir á bondade de amigos e ás enormes reservas de cordialidade de nossa conformação anymica.

Esquivar-me com a fuga para o logar que me é proprio no incognito, seria talvez desprimor difficil de se me desculpar no momento.

E' preciso com effeito, viajar perder de vista o encanto da paisagem, a doçura dos céos e dos corações do Brasil, sentir e advinhar-lhe na bruma da nostalgia colonial a silhueta moral e physica, para bem querel-a, para descobrir, entre os defeitos do convivo domestico, sombreados na perspectiva, o avultar e crescer de tantas substancias saudaveis, de tantas admiraveis essencias de nossa, terra, de nossa patria, de nossa povo.

Quando porém, o espirito transpõe o zenith do seu giro terreno e entra a descer para a vertente das sombras occidentaes, com as illusões ligeiras da mocidade, crestadas e volatilisadas pelas duras soalheiras do soffrimento, começa a presentir nas manifestações mais expontaneas da vida um sentido telepático, secreto e mysterioso.

Desta feita, vou confessar-vos sem temor, que o meu velho expediente artificioso de buscar nas apparecias mais fugazes o fio duradouro das coisas me levou a suspeitar nestas homenagens, que desbaratam meu equilibrio normal de modesto trabalhador do Exercito, um sentido, um significado, uma nova mensagem que pretendo traduzir desta forma: — quasi todos vós, examinando com indisfarçavel benevolencia o traçado de minha acção publica, quereis salientar algumas facetas civis de minha personalidade; eu quero hoje saudar o contrario, isto é, accentuados indices de vocação militar de todos vós, inclinados decididamente a presiar o concurso da vontade da intelligencia e da acção á obra de fortalecer o Brasil militarmente, ante a realidade já deflagrada que illumina de rubros e sinistros clarões os quadrantes do mundo — os céos as terras e os mares — na tremenda destruição que preenche as horas dos dias e das noites das portas do Occidente ás bordas do Oriente.

Reputo a presença de tantos civis entre os meus amigos e camaradas de uniforme, a figuração de nomes «paisanos» tão illustres entre os que procuram prestigiar e incentivar a minha collaboração politica no áspero e recocheteado terreno, militar, como um testemunho alviçareiro de se haver desfeito para sempre o desentendimento perigoso criado pela «questão militar» que vinha rolando dos ultimos dias monarchicos, aggravada por varios acontecimentos e campanhas dissociadores da evolução republicana, entre o Exercito e as elites civis da Nação.

Não pude nunca, alias, comprehender como um genio da poderosa grandeza, da sensibilidade publica de purissimo senso moral e da sábia capacidade de estudo e meditação de Ruy Barbosa não haja comprehendido o erro de impopularisar ou segregar uma classe tão vital para a patria, como o Exercito, ou antes, as Forças Armadas — o eixo da existencia nacional — numa época tendente cada vez mais á estructuração dos imperialismos hegemonicos e da guerra integral.

A EXPORTAÇÃO DE ALGODÃO BRASILEIRO TEM DECAHIDO POR CAUSA DA GUERRA

O Japão, nosso maior comprador, recebeu 124.585 toneladas, mais da metade do total de embarque

De janeiro a outubro do corrente anno, o Brasil exportou para o estrangeiro, 147.298 toneladas de algodão, quando no mesmo periodo no anno passado, as remessas attingiram a 252 862 toneladas. Houve, pois, diminuição de 105.566 toneladas, causada pela guerra, sobretudo, pelo não augmento de compras que poderiam ter sido effectuadas pela Grã-Bretanha, e por fim, a falta de novos mercados não procurados pelos nossos exportadores, como seria de esperar.

O valor de algodão vendido nos referidos nove mezes de 1939, alcançou o total de 632.298 contos, ao passo que no mesmo periodo deste anno attingiu ao montante de 518.634 contos de reis. Em libras ouro essas quantias representam em 1939, quatro milhões, quinhentos e sessenta, em 1940, tres milhões, quinhentos e trinta e seis mil. O preço medio por tonelada foi, em 1939-24,9; em 1940-24,0.

O Japão é o nosso maior cliente Em 1938 adquiriu 59.588 toneladas em 1939, 72.064 em 1940, 55.559 toneladas. Por ordem de compras, de janeiro a outubro deste anno, figuram os seguintes paizes: China, 33.280 toneladas: Grã-Bretanha, 28,141; Canadá, 12.661; Portugal, 5.059; Estados Unidos, 3.361; Holanda, 2.833; França, 2.759; Italia, 12.000 e União Belgo-Luxemburgueza, 900. A Inglaterra em nove mezes de 1938, isto é, de Janeiro a Outubro, havia adquirido no Brasil apenas 28.561 toneladas de algodão: em 1939, 29.577; em 1940, no mesmo periodo citado a sua importação ficou em 28.141.

Quer isto dizer que, enquanto suas compras de materia prima devido á guerra, augmentaram em todos os paizes, com referencia ao algodão brasileiro, a Inglaterra não se tornou maior consumidora.

O fornecimentos de machinas para a industria nipponica

TOKIO, 9 — Segundo a opinião geral colhida tanto nos circulos commerciaes e industriaes, como officiaes, contrariamente ao que propalam os meios americanos de que fabricas japonezas teriam sido forçadas a suspender as operações ante a falta de fornecimento de machinas de fabricação americana a expansão da industria nipponica não soffreu, de maneira alguma, com a medida de embargo posto em pratica pelos Estados Unidos da America. Os mesmos circulos asseveram que a quantidade suficiente de machinas já foi importada, que por outro lado as usinas de distillação de gasolina estão progredindo e que a industria de distillação tem apresentado consideravel desenvolvimento nestes ultimos tempos. Cogita-se agora da importação dessas machinas da Alemanha em virtude da intensificação do embargo americano.

農業

雨と砒酸鉛

流亡を防ぐ新手段

農家の實驗を俟つ

農薬の効果を奏するかは保證の限りでは無いが、時節柄研究課題の一つとして面白そうだから北米科學雜誌の報道をその儘に報導する

棉の大害虫クルケリ征伐に砒酸鉛撒布が始まるが、季節が丁度雨季と一致するため、度々洗ひ落され大變な努力と經濟的損害を被つてゐる、これを防ぐため展着劑として様々研究が行はれ、現在市場に出てゐる展着劑だけでも相當數に達してゐる、然し何れも實効の點では資込人のふれ出しとは一致せぬ品の多い現狀である、何しろ農業費は高價であることは落第ものである

然し科學は一歩も退かず研究を續けてゐる、展着劑として最も有望なものに二種が發表された、魚油と亞麻仁油である、何れも撒布後葉上で乾燥して雨に流される危險が先づ完全に露散する、亞麻仁油は伯國主る處で安いエス、ベンキ油として廣く販賣利用されてゐるから伯國では亞麻仁油が便利と考へられる處法は次の割合

亞麻仁油	三〇〇グラム
水	一〇〇立
藥液の作り方は、最初水少し	七五〇立

水に伸し最後に油を投入し攪拌して充分混つた處で撒布つき噴霧器で手早く撒くべしとある

但し最初糊狀にねつた油を混ぜる方が却つて良く混るのではないかと想像するが、これは實地にやつて見ないことには判然しない

僅か七十五グラム程度の小量の油で雨に流される心配が無くなるものとせばその經濟的價値は素晴らしいものと言ふべきである

土地檢分

今多忙を極めてゐる農家にこんな注文は或は無理かも知れないが、新しく開墾を目的とする新山の下檢分は十二月中が最も便利である、土地勘賣人は專ら三月 降セッカ季節に活動してゐるが、翌年の案内人なら今が最も檢分案内をやる叮き時季に當つてゐる

その理由は十月以來の雨で山林の木々は古い葉を全部振ひ落し新葉とつけ替へたゝ在は山の下草が枯葉で覆はれ歩くには最も便利でもあり、見透しも良くきく只難は暑すぎる

農經

棉花雜報

先日聖市某新聞の發表に據ると、今年棉織物値下げ觀は先月中旬既に六十万俵を越え、昨年同期に比較して實に三万俵も多く賣渡してゐる、恐らく今季中の植えつけ總面積は昨年度のそれより一割乃至二割の増植となるらしい、本年見込み實收量は三億七百万俵前後と見積られてゐるから、明年は今後順調に作柄が進行すれば二億三千万乃至三億六千万キロと大變な收穫量に達することになるらしい、愚に笑はれるかも知れないが本年度の持ち越棉もあり、來年からは聖州棉の割當はどうなるかと大頭痛の氣筋がある氣の毒さである

聖州奥地では十二月中が煙草の種まき季として最適です、

今年のように農業用殺虫劑が發賣された年には農家は是非共

四十五ミル台を現出、この原因は今の處どうも判然しない或は年末までに百万俵輸出實現する傾向を買つてゐるかも知れない、今年の棉作は素晴らしいと殺々人觀がある

最近は聖市では買漁り激しく面白い

ブラジル棉少々の増産位ゐは物の數ではないのだそうだから

聖州棉の割當は是非共必要ではなからうか

煙草は今が種まき

農業藥劑自給

苗の作り方の骨

煙草の種は けず子よりも更に小さく、僅一グラムで一アルケーリ植えつけ分は充分あらうと謂ふ程極小中の未だ極小形です、從て種まきだけは徹底的に丁寧にやらないと失敗します、但し種が小さいだけに極小の間は極く狭い面積で宜いから、却つて面倒が入らないわけで、日本人の仕事として正に打つてつけの一つです、自家用なら蜜柑箱を結構間に合ひます

土は完全に消毒して、病菌も害虫も完全に驅除した土を準備し、これを箱に詰める際には、極く小さい目の篩でふるひ込み、水を打つて土を鎮めます、次に種はメリケン粉を良く混ぜ量を増加し、この混合物を土の上に條まきにし、極く少しく土をふるひ掛けます。この儘日蔭に置くと四日目頃から發芽しますから箱の上を白布で覆ひをして、

戰爭で郊外のバタティに困つてゐるかと思ひの他大した景氣、もつと聞けたからあきれる

◈

蛇毒注射藥で有名なブタンタンから、今度は蛇毒豐防注射

なるものが產出しました

農家便覽

世紀の英雄

(上映無聲)

(六十八)

戰場だより (五)

夏目 伸二 番口

「そりゃ、聽覺君はえらいと思ふ。我々銃後の者は感謝しなくてはならないに相違ない。然し帝都レビューだつて商賣だもの、仕事をしないものに月給をやるわけに行かない。まい一牧がさう言つた時だつた。

顔は少女のやうに愛くるしいが、身體つきはすつかり大人に發達した踊子が二人樂屋から這入つて來た。

「只今。——今ね、其處で」

と、甘ったるいやうな聲で話し出すと、一人が、岩田の顔を見て一寸目くばせをした。然し何のことか解らないらしく、

「そこで、鍵子お姉さんに會つたわ。智津子お姉さんと歩いてゐたわよ」

岩田はそれに、

「おやね 君等、樂屋へ戻つたら鍵子君と大和さんを呼んで來てくれないか 聽覺京平

さんから、戰地の便りがありましたつて。その手紙をみせてあげたいし、他に少しばかり相談があるから來て下さいと言つてくれたまへ」

「はい」二人の踊子は元氣よく飛出して行つた。岩田はさう命じておいてくるりと振かへつて牧に呼つた。

「……すると、君の考へでは戰地へ行つてやうが呼しようが、仕事をしないものには給料を出す必要が無いと言ふのか。

聽覺君の場合は、故郷のおつ母さんをこゝの給料で支へてゐるのだといふやないか それでもそんな馬鹿なことを言ふのか。

僕は、これから踊子側に立つて、敢為せねばならぬ數々を專務に當つて行かうと思つてゐるので。それぢや、君は いきなり資本家側の人間の へぢやないか」

未だかつて見にしたことの無いはげしい岩田達夫の剣氣であつた。牧は、目をぱちくさせてゐたが、

「僕が、資本家側に立つてゐるか、伸はれる方の側に立つてゐるか解らないが、とにかく君務に喰つてかゝるたつてことは眼だな、さうしたことだつたら伸間には入るのに御遠慮する。第一、僕は今、生活を立てさうとしてゐるのだから そんな爭鬪に加はりたくない 「勞働、生活を立てる決心をしてゐるやだからこそかうしたことを主張すべきぢやないか」

「どつちにしたつて、僕はプロレタリヤイデオロギーなんて難しいものは解らないんだ。

おや、失敬する」

牧は弗げ出すやうに、岩田から離れて行つた。岩田は、その後姿に、かつとする觀はげしい憎しみを感じてゐたが次瞬にそれが懊惱の情に變つて行くのである。

「可哀さうな男だ」

さう言つたが、これは高更伸び上つて相手に言ふ言葉でもない。そこへ、どや〳〵と踊子達が來た。

岩田は黙つて、聽機京平の戰地からの便りを示した。鍵子が、それをひつたくるやうにして聲をあげて讀み出す。

——〇〇方面へ僕等がやつて來て以來僕は一ヶ月位、そこで僕は砲彈、小銃の洗礼を受けて、がらり之人が變つた——「まあ、京平さんの、すてきねえ」

鍵子さん、割り科白を入れないで、先を讀んでよ」

誰かさう言ふと、鍵子はかぶり付くやうにして文を出した。岩田はそれを組みしつて聞いてゐる。七和智津子も影響のやうな表情で手紙に注意をはらつてゐる。